

令和4年度

**鬼北町教育委員会
点検・評価報告書**

令和5年5月

鬼北町教育委員会

事務事業評価一覧表

総合評価 5段階評価とする。

- 1 事業の運営管理ともに良好であり、極めて順調であった。
- 2 おおよそ優れた成果を挙げた、概ね順調であった。
- 3 一応の成果を挙げたが更に努力が必要である。
- 4 殆ど成果がなかった。
- 5 評価なし

評価の今後の方向性

「廃止・終了」「休止」「継続」「見直し」「拡大」のいずれかとする。

基本 施策	個別事業施策名	事業の目的	事業の内容	総合評価		
				判定	今後の 方向性	判定理由・課題・ 今後の対応等
教職員の 指導力と資 質の向上	教育振興会事業、教 育連絡協議会事業	小中学校教職員の 指導力・資質の向上 及び小中高校との緊 密な連携を図る。	<p>【教育振興会事業】 小中学校教職員による主任委員会及び専門部会において、自主研修を実施。 北宇和高校馬術部の活動及び選手の強化育成や競技用具の充実を図った。</p> <p>【教育連絡協議会事業】 小中高校教職員による専門委員会において自主研修を実施。</p>	2	継続	今後も町内教職員による主任会、専門部会及び研修会等を通じて、学校間の連携を密にすると共に、県の教育機関とも連携を図り、質の高い教育を引き続き目指していただきたい。
確かな学力 の定着と体 力の向上	学力向上推進事業、 体育振興事業、文化 振興事業、本屋へ行 こうプロジェクト	町教育力向上推進 委員会を中核として、 町内全小中学校一体 となって、学力向上プ ランの策定、各種学 力調査の分析・考察 をもとにした授業改 善、ICT活用教育の 推進、読書活動の推 進、家庭との連携を 図る。また、体力アッ プ推進計画に基づ き、児童生徒のス ポーツに対する興 味・関心を高め、体力 の向上とスポーツへ の参加意識の高揚を 図る。さらに、読書に 親しんだり、文化・芸 術面の取組を推進し たりして、豊かな心の 醸成を図る。	<p>【学力向上推進事業】 児童生徒の学力向上を図るため、教育力向上推進委員会を設置し、全国学力・学習状況調査等の分析・考察、町独自の学習状況調査の実施等を行った。また、町教育委員会指定ICT活用教育研究推進校に日吉小を指定して、研修を実施した。</p> <p>【体育振興事業】 小学校の代表児童28名が、愛媛県小学校陸上運動記録会へ参加した。 中学校の部活動において、愛媛県中学校総合体育大会、四国中学校総合体育大会、全日本中学校陸上競技選手権大会、愛媛県中学校新人体育大会、愛媛県中学校長距離継走大会に125名が参加した。</p> <p>【文化振興事業】 吹奏楽部において、全日本吹奏楽コンクール愛媛県大会、RNB音楽コンクール愛媛大会に40名が参加した。</p> <p>【本屋へ行くこうプロジェクト】 読書への興味・関心の高揚を目指して、町内の小・中学生を対象として学校の図書室に置きたい本の選定を児童生徒自らが行う事業を実施した。</p>	1	継続	<p>教育力向上推進委員会を中心に町内学校全体で調査・研究を進められており、GIGAスクール端末を十分に活用し、わかりやすい授業に取り組んでいただきたい。</p> <p>コロナ禍で激しい運動を控えたため、子どもの体力が低下したとの報道もあり、今後の学校での体力向上の取組も考慮が必要である。</p> <p>「本屋へ行くこうプロジェクト」は大変ユニークな取組みであり、子どもたちがより一層本に興味を持てるよう、今後も継続願いたい。</p>

基本 施策	個別事業施策名	事業の目的	事業の内容	総合評価		
				判定	今後の 方向性	判定理由・課題・ 今後の対応等
豊かな人間 性の形成	ふるさといきいき連携 学習事業、ライフキャ リア教育事業	様々な体験活動を通 して、豊かな心とコ ミュニケーション能力 の育成、自己肯定感 の向上を目指すとも に、地域の産業や 自然・歴史・文化の 学びや、様々な人 との交流を通してふる さとを愛し、誇る心 の醸成を図る。	町内小・中学校と北宇和高校や地域住民が連携し、米・野菜・花の栽培等の自然体験活動、食品加工体験学習、地域の歴史や伝統文化に触れる活動、職場体験を行うキャリア教育等に取り組んだ。 【ふるさといきいき連携学習事業(各小・中学校と北宇和高校の連携学習)】 ・野菜班:①夏野菜苗定植 ②夏野菜の収穫 ③秋冬野菜苗定植 ・草花班:①夏花苗定植 ②秋花苗定植 ・食品班:①和菓子作り ②乳酸飲料の製造 ③メロンパンの製造 ・作物班:①サツマイモ苗定植 ②サツマイモの収穫 ③田植え体験 ④ 稲刈り体験 ・収穫祭:高校生が調理したカレーライス試食(※新型コロナウイルス感染症の影響で会食とレクリエーションは中止。) 【ライフキャリア教育】 日吉小・中学校で実施する郷土学のほか、他の小学校では、地域住民等の協力を受けつつ、校区の歴史や伝統文化を学ぶ総合的な学習の時間を展開した。また、広見中学校では町内各事業所で職場体験学習を行ったほか、地域で働く青年との交流会(くるまざ♡ミーティング)や、愛媛大学学生との交流会(ドリームアップミーティング※日吉中学校も合同実施)を行い、将来への希望や展望を広げた。	1	継続	本事業の実施においては、県立北宇和高校や地域住民と連携を深めることによって、自然・歴史・文化に関心を持ち、ものを大切に育む心の育成が図られている。 事業の実施を継続することにより、鬼北に残りたい、戻りたいと考える子供たちが増えていくことを期待する。
特色ある学 校づくりの 推進	コミュニティ・スクール (学校運営協議会) 推進事業、小中一貫 教育推進事業	全小中学校で、地 域や保護者の学校運 営への参画を図る仕 組みを取り入れて、 地域とともにある学 校づくりを目指すとも に、日吉地区では 地域性を生かし、義 務教育9年間を通し た指導方針により、 小中学校が連携して 教育の質を高める。	町内全小中学校において、地域とともにある学校を目指すため、各種事業に取り組み、地域全体で学校運営に協力すると共に、地域の教育力の向上を図った。 【コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)推進事業】 保護者や地域住民等の声を生かした、地域とともにある学校づくりを目指し、全ての小中学校が学校運営協議会制度を取り入れてコミュニティ・スクールとしての運営を行った。学校運営協議会では学校運営方針の説明・承認のほか、学校が推進する伝統文化教育や防災教育の分野等で熟議も行い、地域と学校が一体となった教育が構築されつつある。なお、新型コロナウイルス感染症対策に伴い、学校運営協議会を書面開催にしたり、開催時期を延期したりするなどの対応も行った。 【小中一貫教育推進事業】 教育課程特例校制度を活用し、義務教育9年間の一貫したカリキュラムによる「郷土学」を实践、また、小中学校教員相互の「乗り入れ授業」や小・中合同行事等も実践して、児童生徒の学力向上と個性・能力の伸長を図った。	2	継続	学校運営協議会の活動により、地域全体での学校づくりに努められている。 今後も家庭・地域と連携・協働し時代を担う人材の育成に期待する。 また、日吉地区での特徴のある小中一貫教育については、さらに充実した取組に期待したい。

基本 施策	個別事業施策名	事業の目的	事業の内容	総合評価		
				判定	今後の方向性	判定理由・課題・今後の対応等
児童・生徒指導の徹底と健全育成	スクールソーシャルワーカー活用事業、スクールカウンセラー活用事業、不登校対策事業	いじめ・不登校・虐待などの児童生徒に係る問題の早期発見・早期対応・早期解決に努め、町内の児童生徒の健全育成を図る。	<p>【スクールソーシャルワーカー活用事業】 好藤小・愛治小・三島小・泉小・近永小において、児童、教職員及び保護者に対する教育相談活動を実施。</p> <p>【スクールカウンセラー活用事業】 広見中と日吉中を拠点校、町内全小学校を構成校として、児童生徒、教職員及び保護者に対する教育相談活動を実施。</p> <p>【不登校対策事業】 不登校児童生徒への個別指導や相談を受け、宇和島市こども支援教室「わかたけ」に生徒1名が通い、子ども達の健全育成に努めた。</p>	1	継続	<p>今後も事業を継続し、いじめのない学校づくりをお願いしたい。</p> <p>スクールソーシャルワーカーの活用事業等についても、それぞれ一定の成果を挙げられたと思う。</p> <p>また、宇和島市内の専門機関「わかたけ」との連携も今後さらに推進していただきたい。</p>
特別支援教育等の推進	学校生活支援員配置事業、特別支援教育就学支援事業、教育相談事業	障がい等を有する児童生徒が豊かな学校生活を送れるような体制づくりを行うとともに、教職員の負担軽減を図る。	<p>【学校生活支援員配置事業】 障がい等を有する児童生徒が、豊かな学校生活を送れるよう学校生活支援員を24名配置。(好藤小、愛治小、三島小、泉小、近永小、日吉小、広見中)</p> <p>【特別支援教育就学支援事業】 障がい等を有する児童生徒が、豊かな学校生活を送れるよう学用品等の就学援助を実施。</p> <p>【教育相談事業】 特別な支援を必要とする子どもと保護者を対象として、養育や教育に係る相談支援を行い、就学前から中学校卒業後までを見通した途切れない支援の充実を図った。</p>	1	継続	<p>特別な支援を必要とする児童生徒が安心して学校生活を送れるとともに、教職員の負担軽減にもつながっていると考えられる。</p> <p>今後も関係機関が連携した取組を継続されたい。</p>

基本 施策	個別事業施策名	事業の目的	事業の内容	総合評価		
				判定	今後の 方向性	判定理由・課題・ 今後の対応等
社会の変化に対応する教育の推進	国際交流事業、人材育成ふるさと研修事業	異文化との交流により、国際理解を深め、国際社会を生き抜く人間を育てる。	<p>【国際交流事業】 小中学校において、外国語指導助手3名による語学指導及び国際理解活動を実施した。また、毎週水曜日に一般町民を対象とした英会話教室を開催した。</p> <p>【人材育成ふるさと研修事業】 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、今年度の海外研修事業を中止した。</p>	2	継続	外国語指導助手が3名体制で運用され、学校における語学指導が充実しており、継続を希望する。 また、海外研修事業については、生徒たちの様々な興味関心に応えるため、海外研修以外の研修なども検討されたい。
学校給食を通じた食育の推進	特別栽培米購入事業、食育推進事業	児童生徒に安全で美味しい地元産減農薬米コシヒカリや農林産物を使用した給食を提供し、食について考える機会を与える。	<p>【特別栽培米購入事業】 学校給食に年間約6.4tの地元産減農薬米コシヒカリを使用し、米飯給食(年間118日)を提供した。</p> <p>【食育推進事業】 学校給食の調理材料に地元産の農林産物を活用した。</p>	1	継続	地元の減農薬米や農林産物を使用した安全安心な食材の活用を通して食育を推進していくとともに、今後も子どもたちに地域を愛する気持ちを育んでもらいたい。

基本 施策	個別事業施策名	事業の目的	事業の内容	総合評価		
				判定	今後の方向性	判定理由・課題・今後の対応等
安全・安心な学校づくり	学校施設等整備事業、通学路安全推進事業、スクールガード・リーダー活用事業	安全・安心な学校教育施設、設備や防災体制の整備充実に努める。	<p>【学校施設等整備事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○鬼北町立広見中学校改築工事(建築工事)【令和3年度～令和5年度】 ○鬼北町立広見中学校改築工事(電気設備工事)【令和3年度～令和5年度】 ○鬼北町立広見中学校改築工事(空調衛生設備工事)【令和3年度～令和5年度】 ○鬼北町立広見中学校部室棟改築工事 ○鬼北町立広見中学校テニスコート改修工事 ○日吉小学校高圧機器更新工事 ○三島小学校ワークコート舗装改修工事 <p>【通学路安全推進事業】</p> <p>通学路の安全に関する地域の実態を把握し、危険箇所への対応を迅速にかつ継続的に行うため、関係機関等が連携し、8月23日に通学路合同点検を実施した。</p> <p>【スクールガード・リーダー活用事業】</p> <p>スクールガード・リーダーを2名委嘱して各学校を定期的に巡回し、警備のポイントや改善すべき点等を指導・評価して学校安全体制の整備を図った。</p>	1	継続	<p>町内の学校は、老朽化が目立ってきているが、毎年大きな修繕を行っており、広見中学校の改築も順調に進んでいると聞いている。</p> <p>今後も児童生徒が安心して学校生活が過ごせるよう計画的な修繕をお願いしたく、いずれの事業も継続されたい。</p> <p>スクールガード・リーダー活用事業についても継続されたい。</p>

基本 施策	個別事業施策名	事業の目的	事業の内容	総合評価		
				判定	今後の方向性	判定理由・課題・今後の対応等
教育諸条件の整備	準要保護児童・生徒就学援助事業、過疎対策遠距離通学補助事業、自転車・ヘルメット購入補助事業、高等学校遠距離通学費補助事業、大学生等生活応援給付金事業	経済的に困窮している家庭及び遠距離通学者の円滑な就学を図る。	<p>【準要保護児童・生徒就学援助事業】 生活保護世帯に準ずる程度に困窮している家庭を対象に、学用品費や給食費等を助成した。</p> <p>【過疎対策遠距離通学補助事業】 通学距離が3km以上の小学生に対し、バス定期券購入費を補助した。</p> <p>【自転車・ヘルメット購入事業】 通学距離が2km以上の新入学中学生に対し、自転車及びヘルメット購入費を補助した。</p> <p>【高等学校遠距離通学費補助事業】 愛治地区・三島地区・日吉地区から高等学校等へ遠距離通学する生徒に対し、通学費を補助した。</p>	2	継続	助成要件の審査を的確に行うとともに、すべての子どもたちが安心して学校に通学できるよう、今後も継続支援されたい。
人権教育の推進	えひめいじめストップ！デイ	いじめの原因や、具体例、対処法などについて県下一斉のオンライン授業で意見交換を行うことで、お互いの個性を尊重し、誰もが安心して生活できるいじめのない楽しい学校づくりを目指す。	<p>【えひめいじめSTOP！デイ】 愛媛県教育委員会が主催するオンラインを活用した「えひめいじめSTOP！デイ」に町内全小学校の6年生、中学校の1年生が参加し、愛媛県内の様々な学校の児童、生徒のいじめに対する多様な考え方に触れ、ライブ配信授業を通じて他校と意見交換を行うことなどにより、いじめの原因やその対処法などについて学んだ。</p>	2	継続	来年度も事業を継続し、いじめのない学校づくりを目指して欲しい。 また、いじめを把握した場合は速やかに解消に向けた取組みをお願いしたい。

基本 施策	個別事業施策名	事業の目的	事業の内容	総合評価		
				判定	今後の 方向性	判定理由・課題・ 今後の対応等
心豊かで充実した人生を送るための生涯学習の推進	生涯学習社会づくり事業	住民個々のニーズに応える学習機会の提供とその内容の充実を図るとともに、社会教育団体の活動支援を維持する。	<p>住民一人ひとりの個性や能力に応じて、自由に学ぶことができ、生きがいを感じる生涯学習社会を構築するため、様々な住民の学習ニーズに応える学習機会を提供するとともに、地域社会の連携を図る婦人会、青年団及び日吉一希を起こす会並びに青少年の健全育成のため、活動の充実を図るPTA及び愛護班に対し予算補助を実施し、活動を支援した。</p> <p>PTA連合会では、コロナ禍で活動ができないことから、各学校で子どもたちが必要とする物品を購入し、健全育成に寄与することができた。また、愛護班では「わんぱくたちのクリスマス会」と題し、全小学校に参加の募集を行い、クリスマスリースの製作・展示を実施、子どもたちに素敵なクリスマスイベントを提供できた。婦人会及び青年団では、コロナ禍で自粛していた活動を再開し、各公民館と連携を図り青少年の健全育成や地域活性化の活動を行った。</p>	2	継続	各社会教育団体の維持発展については、特に会員数の減少等により厳しい状況にあると思われ、教育委員会としてというよりは、各団体の努力によるものと考えているが、教育委員会として各団体に働き掛け、充実した活動ができるよう継続支援をお願いしたい。
心豊かで充実した人生を送るための生涯学習の推進	でちこんか事業(夏の陣:【四万十・源流広見川】川上り駅伝)	日本一の清流・四万十川の支流である広見川でイベントを開催し、清流の町をアピールすることにより、自然に親しみを持ち、ひいては自然を守る心を養い、心豊かなふるさとづくりを推進する。	8月7日開催予定としていた大会は、7月15日に実行委員から徴取した意見を踏まえ、実行委員長と協議を行った結果、町民、参加者及び来訪者等の安全を最優先に考慮し、開催を中止した。 ※新型コロナウイルス感染症の影響により3年連続中止。	5	継続	本年度はコロナ禍により実施できず、大変残念であった。 町を代表するイベントになっており、今後も継続をしていただきたい。

令和4年度

基本 施策	個別事業施策名	事業の目的	事業の内容	総合評価		
				判定	今後の方向性	判定理由・課題・今後の対応等
心豊かで充実した人生を送るための生涯学習の推進	でちこんか事業(秋の陣)	生涯学習の視点に立って、それぞれの人々がいつでもどこでも積極的に学習に参加し、心豊かで充実した人生を送ることができる生涯学習社会の創造に努める。あわせて、鬼北町のアピールと町民が自分の町に誇りが持てるような地域づくりを進める。	<p>本年度で27回目となる「でちこんか2022」は、8月4日の運営委員会にて実施の可否について協議した結果、町民及び来訪者等の安全を最優先に考慮し、中止の判断を行った。※新型コロナウイルス感染症の影響により3年連続中止。</p> <p>3月10日「でちこんか2022」の代替イベントとして、広見中学校体育館において、でちこんか出演する予定だった団体等を招聘し、「みにこんか」を実施した。当日は、地元のダンスチーム広蓮や魁、愛媛大学ダンス部、天邪鬼、テノール歌手の秋川雅史氏をお招きし、素晴らしいステージを披露していただいた。</p> <p>※1部(中学生対象)と2部(一般対象)に分けての開催。</p>	2	継続	<p>年度末に実施した「みにこんか」は、非常に評判も良かったと聞いている。</p> <p>来年度は実施できることを願っており、是非継続されたい。</p>

基本 施策	個別事業施策名	事業の目的	事業の内容	総合評価		
				判定	今後の 方向性	判定理由・課題・ 今後の対応等
心豊かで充実した人生を送るための生涯学習の推進	公民館活動推進事業	公民館を中心に、町民の学習・スポーツ活動への意欲を喚起する最新情報の収集、活動ニーズの把握、新たなメニューの開発、質の高い芸術・文化に触れる機会の創出など年代や地域に応じた多様な活動プログラムを提供するほか、自主的な学習活動の活性化、各協会など町民活動組織への支援に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> ・中央公民館図書室では、毎月ケーブルテレビの「中央公民館図書室だより」への出演を引き続き行ったり、町のホームページにて新着本の紹介を行ったりしたほか、読書週間等に合わせた企画イベントを実施し、子どもの読書推進や図書室利用啓発を行った。また、新型コロナウイルス感染症予防のため、今年度もブックスタート事業は3～4か月児検診に合わせた絵本の配布や、ビデオ収録したクリスマスお話し会をU-CATで放送するなど、実施方法を変更して子育て支援に努めた。 ・中央公民館と地区公民館において、地域の特色を活かした伝統文化や歴史を学びながら、豊かな人間性を自ら育む生涯学習環境の向上に努めた。例年、地区公民館では、松野町の公民館と協力イベントを実施していたが、今年度も新型コロナウイルス感染拡大予防のため中止とした。 ・成人式について、今年度から「鬼北町二十歳のつどい」と名称を変更し実施した。担任教諭のビデオメッセージを作成して式典の中で披露し、新成人の郷土愛の醸成に努めた。 ・体育祭事業、夏祭り事業については、今年度も新型コロナウイルス感染予防のために中止としたが、近永公民館が中心となり、町内の音楽関係等の団体の発表風景を録画し、ネットで配信した。なお、昨年度は発表者のみの動画配信としていたが、今年度は広見体育センターで観客を入れて実施した。 ・各種講座、教室においても地域住民のニーズに応えた事業を展開した。また、子育て支援の一環として、「放課後子ども総合対策事業」に取り組み、小学生の放課後の居場所確保として実施した。 ・花いっぱい運動では、各公民館が地域団体と協力し、年間を通して管理に努めた。苗は、北宇和高校の生徒たちが育てたものを購入している。今年度は、ポーチュラカ、ビオラを購入した。(年2回配布) ・公民館施設整備：愛治・泉公民館および和太鼓練習場空調機移設工事、公民館飛沫感染防止アクリルパネル購入業務、感染症対策空気清浄機購入業務、感染症対策自動アルコール除菌ガンスプレー購入業務、中央公民館：町民会館上会議室空調設備取替工事、町民会館キュービクル変圧器取替工事。感染症対策を行い、快適な環境づくり、住民が安心して活動できる公民館づくりに努めた。 	2	継続	<p>中央公民館図書室については、各種イベントを実施することで、利用者が読書に興味を持てるように配慮した活動ができています。</p> <p>公民館事業では、新型コロナウイルスの影響もあるが、出来る範囲で行事を実施したと聞いている。</p> <p>次年度は、地区と学校が一体となった取組が再開できることを願う。</p>

基本 施策	個別事業施策名	事業の目的	事業の内容	総合評価		
				判定	今後の方向性	判定理由・課題・今後の対応等
学校・家庭・地域の連携推進	学校・家庭・地域連携推進事業	幅広い地域住民の参画を得て、地域全体で子供たちの学びや成長を支えるとともに、学校を核とした地域づくりを目指す。また、放課後に子供たちの安全・安心な活動拠点を設け、地域住民と交流活動に取り組むことで、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。	<p>平成28年度から町内すべての小中学校に地域学校協働本部を設置、学校・家庭・地域が連携・協働し、地域ボランティアの協力を得て、地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支え、地域を創生する「地域学校協働活動」を推進するとともに、この活動を推進する「地域学校協働本部」への支援に努めている。</p> <p>また、子どもたちとともに勉強やスポーツ・文化活動等、地域住民との交流活動に取り組む「放課後子ども教室」を、日吉地区(平成28年度～)、泉地区(平成29年度～)、好藤地区(平成30年度～)の3地区で実施し、放課後の子どもたちの安全で安心な居場所づくりを推進している。今年度は愛治地区及び三島地区で、放課後子ども教室の設立に向けて協議を重ねたが、地域で子どもを見守る環境があり、希望する家庭が少なかったことなどから、今後、必要になった時期に改めて検討することになった。</p> <p>【地域学校協働本部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア年間延べ活動人数:16,479人 <p>【放課後子ども教室】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施教室:日吉地区、泉地区、好藤地区 ・登録児童 70人(日吉地区23人、泉地区20人、好藤地区27人) ・教育活動サポーター数 57人(日吉地区20人、泉地区19人、好藤地区18人) 	2	継続	ボランティアの確保が難しい状況だと聞いているが、多くのボランティアに参加を頂いているようである。今後も継続支援をしていただきたい。

基本 施策	個別事業施策名	事業の目的	事業の内容	総合評価		
				判定	今後の 方向性	判定理由・課題・ 今後の対応等
人権学習 及び啓発活 動の推進	人権教育推進事業	国の法律に基づき、正しい人権意識とお互いを尊重する心を育む学習を通して、あらゆる差別や不合理な社会矛盾の解消に努め、一人ひとりが個性と能力を発揮することのできる社会の実現を目指す。	<p>あらゆる差別の解消を目指し、学校や地域における人権教育を中心に、町全体で命の大切さ、人権意識の高揚に努めた。また、いじめや差別をなくする意識啓発により、差別のない心豊かなまちづくりの推進に努めた。</p> <p>【子どもたちのための人権集会】 10月25日 講師:KABA. ちゃん氏(タレント/振付師) 対象:町内中学生及び一般 計 約230人 タレントで振付師のKABA. ちゃんと愛媛県でパーソナリティーとして活躍されているやのひろみさんをお招きし、町内中学生を主な対象に「知ってほしいLGBTQのこと～これが私。自分らしく生きるために」と題しトークショーを行った。近年、社会的関心が高まっているLGBTQについて自らの体験談生徒たちに語りかけた。生徒たちには難しい話題であったが、熱心に耳を傾け、お互いに様々な違いを認め合い、思いやりを持って協力し合うことが大切であることを改めて理解した。</p> <p>【人権を考える集い】 2月11日 講師:木山裕策氏(歌手) 対象:PTA会員及び一般 計 約120人 歌手の木山裕策氏をお招きし、PTA会員及び一般を対象に「ガンが教えてくれたこと～自分に向き合って見つけた夢～」と題し講演会を行った。辛いとき、苦しい時にこそ、他者との絆が助けになること、頑張っても駄目だった時にそこからどう這い上がっていくかなど、実体験を踏まえた話をされ、参加者は熱心に耳を傾けていた。また講演後にはミニコンサートも行われ木山氏の心に響く歌声に会場は大いに盛り上がった。</p>	1	継続	いずれの講演も非常に有意義であり、評判も良かったと聞いている。 来年度は、人数制限なく講演会などが実施できることを願っている。

基本 施策	個別事業施策名	事業の目的	事業の内容	総合評価		
				判定	今後の 方向性	判定理由・課題・ 今後の対応等
人権学習 及び啓発活 動の推進	シトラスリボン運動推 進事業	シトラスリボン運動 を展開することで、差 別偏見なく、暮らしの 中で「ただいま」「お かえり」と言いあえる まちづくりに繋げる。	コロナ禍で生まれた差別や偏見を無くすため、愛媛県発祥の「シトラス リボン運動」に賛同、学校や地域におけるいじめや差別をなくする意識 啓発により、差別のない心豊かなまちづくりの推進に努めた。 【シトラスリボン運動】 町ホームページや公民館報にシトラスリボン運動の記事掲載及び町内 各施設にポスターを掲示し、啓発を行った。	2	継続	昨年まで程の熱量は感 じなかったが、コロナ禍で 新たに生まれた差別や偏 見などの解消に向け今後 も支援を継続されたい。
地域に根ざ した個性豊 かな文化の 振興	文化団体育成事業	地域に根ざした伝 統文化や、新しい町 民文化を創造し、ふ るさとの心をはぐくむ 文化風土の形成に寄 与するため、文化協 会の運営及び活動を 展開する。	地域における芸術文化活動の核となる、芸術文化団体及び後継者を 育成し、芸術文化活動の発展を図る一方、芸術鑑賞の機会の拡充を 図った。会報紙を年に2回発行し、各団体の活動内容を町内に発信して いる。鬼北文楽や富母里神楽保存会などの郷土芸能等保存部門につ いては、Withコロナの動きにより、少しずつ活動を再開して継承活動に 努めた。また、展示部門の生花団体では、新型コロナウイルス感染症の 影響で昨年度中止していた生花展を、今年度は開催することができた。 県展移動展も広見体育センターにて開催し、町内外を問わず、芸術作 品鑑賞の場を提供することができた。また、きほく作品展を開催し、近隣 住民に対して会員や保育所、小中高等学校生、老人クラブ、婦人会等 の日頃の成果を発表することができた。きほく芸能まつりについては、今 年度も新型コロナウイルス感染症予防のため中止となった。 ・きほく作品展の作品数349点、来場者数約420人 ・県展移動展鬼北 会場来場者数約211人 ・鬼北山野草会による展示会(秋の山野草 展、新年を飾る山野草展) ・年2回の会報紙発行(9月:3, 500部、3月3, 500部) 【団体助成】 日吉地域文化保存会: 節安花とび踊り、富母里神楽、盆踊り 3団体 へ補助 泉貨紙保存会、鬼北文楽保存会、太鼓集団魁、文化協会 【地域おこし協力隊による泉貨紙製造技術の継承等】 令和2年度より泉貨紙製造技術の継承のため活動している地域おこし 協力隊が、紙漉き技術習得や泉貨紙を活用した商品開発のために日々 奮闘している。他の市町の協力隊員との交流やSNSを通して泉貨紙の 魅力を町外に発信したり、地域のイベントにも積極的に参加し、地域活 性化にも協力した。さらに、モノの魅せ方や商品開発の向上のために県 外視察もした。	1	継続	各団体とも、会員の高齡 化により後継者不足の問 題が生じてきているが、貴 重な伝統文化を保存・継 承できるようお願いした い。 また、地域おこし協力隊 には新たな商品開発など 期待している。

基本 施策	個別事業施策名	事業の目的	事業の内容	総合評価		
				判定	今後の 方向性	判定理由・課題・ 今後の対応等
地域に根ざした個性豊かな文化の振興	文化・文化財活用事業	町内の文化・文化財や文化施設を活用した講演会・シンポジウム・企画展・各種イベントなど、文化財保護啓発活動を実施し、地域活性化を推進する。	<p>【埋蔵文化財活用事業・国補助】</p> <p>史跡に親しみながら学ぶ「史跡等妙寺サポーターの会学習会」(7・9・11・12月開催、全5回)や「山寺講座」(10・12・2月開催、全3回)を開催し、町内外から延べ131人の参加者を得ることができ、関心の高さが窺われた。参加者に実施したアンケートでは、令和6年度オープン予定のガイダンス施設や史跡公園への期待が多数聞かれた。また、国立博物館で巡回展示され、全国的な注目を集めた等妙寺木造菩薩遊戯坐像の最新調査成果を公開する史跡関係講演会「等妙寺菩薩遊戯坐像から発見された木製八角五輪塔と舍利」(6月26日)を開催し、町内外から40名の参加があった。</p> <p>そのほか昨年度に引き続き、著名な歴史考証イラストレーターである香川元太郎氏に、史跡の効果的な普及啓発のための復元イラストを2カット作成していただいた。加えて、香川氏の数ある作品の中から「寺」のイラストを中心に展示した企画展「歴史考証イラストレーター香川元太郎の世界ーよみがえる寺と城ー」(12月17日～3月12日)を鬼北町歴史民俗資料館で開催した。</p> <p>また、興野々寺山遺跡関係では、竪穴住居復元プロジェクトを昨年度に引き続き実施し、体験学習型の史跡活用・整備を進めた(2～3月)。</p> <p>【文化財PR事業・県補助】</p> <p>等妙寺の歴史や地域で果たした役割などを漫画で分かりやすく伝える等妙寺まんが制作 (R3・4の2か年)や史跡案内パンフレット制作を委託業務により実施し、史跡や関連文化財のPRを推進するためのコンテンツ作成に努めた。</p>	1	継続	<p>等妙寺旧境内、寺山遺跡等を活用したイベントの実施などにより文化財活用が図られている。</p> <p>特に、等妙寺はガイダンス施設も稼働予定と聞いており、今後の事業継続を期待している。</p>

基本 施策	個別事業施策名	事業の目的	事業の内容	総合評価		
				判定	今後の方向性	判定理由・課題・今後の対応等
地域に根ざした個性豊かな文化の振興	文化財保護事業	鬼北町内の指定文化財を中心に、維持管理を行い、その保護を図る。また、町内の文化・文化財を地域資源として積極的な活用を図り、文化財保護意識の高揚と周知を図る。	<p>文化財保護委員会を開催し、文化財事業の進捗状況や町内文化財の保存修理や維持管理等について検討・審議を実施した。</p> <p>指定文化財をはじめとする町内文化財について、必要に応じて補助金を活用するなど円滑な保存修理や維持管理を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町指定仏画保存修理事業(等妙寺旧境内維持管理費補助金) ・等妙寺境内防犯カメラ設置事業(等妙寺旧境内維持管理費補助金) ・愛治大宿権太組茶堂屋根改修事業(鬼北町文化財保存伝承事業費補助金) <p>1月26日の文化財防火デーに合わせた防火訓練については昨年、一昨年と新型コロナウイルス感染症予防のため開催が叶わなかったが、今年度3年振りに国指定重要文化財「善光寺薬師堂」にて実施することができた。文化財所有者、周辺住民、消防団員に協力を仰ぎ、連携を密にするとともに文化財保護と防火意識の向上を図ることができた。</p>	2	継続	貴重な地域の文化財産を守るため、引き続き調査を続けるとともに、文化財の価値や評価を広く公開・活用できるよう取組を進めていただきたい。
地域に根ざした個性豊かな文化の振興	町内遺跡発掘調査事業	地域の歴史や伝統文化を伝える遺跡等の町内の埋蔵文化財について調査を行い、町内の遺跡を把握することで、開発行為等による遺跡の消滅を防ぐとともに、開発と文化財保護が円滑に進むよう調整する。また、各遺跡の調査を進める中で、遺跡から情報を引き出し、その歴史的価値を明らかにし、地域への還元のための活用を推進する。	<p>史跡等妙寺旧境内の発掘調査では、等妙寺旧境内調査・整備検討委員会の指導のもと、昨年度に引き続き、平坦部A-1(山王跡)の発掘調査を実施した。調査の結果、将来的な保存整備活用前提となる成果を得ることができた。今後、令和6年度の発掘調査報告書作成・刊行に向け、整理作業を進めていく予定である。</p> <p>町内遺跡詳細分布調査では、等妙寺旧境内に関連して奈良山霊場遺跡を対象に実施した。成果については令和6年度に正式報告予定である。</p> <p>近年、森林施業に伴い増加傾向にある埋蔵文化財包蔵地の照会に対する現地確認や、事業者への埋蔵文化財包蔵地に関する手続きの周知や注意喚起を積極的に行い、文化財保護に努めた。</p>	2	継続	これまで継続して行ってきた史跡等妙寺旧境内の発掘調査については、よく事業を実施している。今後も委員会の指導の下、イベントの実施や成果報告等を行いながら、事業を進めていただきたい。また、町内に存する埋蔵文化財包蔵地の調査についても、詳細の把握に引き続き努められたい。

基本 施策	個別事業施策名	事業の目的	事業の内容	総合評価		
				判定	今後の方向性	判定理由・課題・今後の対応等
地域に根ざした個性豊かな文化の振興	史跡等妙寺旧境内保存整備事業	国史跡等妙寺旧境内の恒久的な継承と利活用を目的に、等妙寺旧境内調査・整備検討委員会の指導のもと、保存管理計画・史跡保存整備構想・史跡保存整備基本計画に基づき、史跡地内の環境整備及び遺構の保存整備を推進する。	文化庁の国宝・重要文化財等整備・活用補助金の採択により、令和3年度に着工した史跡ガイダンス施設建設工事は、繰越により6月末に完了した。令和4年度は、史跡ガイダンス施設建設工事のうち、内装工事として展示工事を発注し、12月議会での承認を得て、展示工事に着工した。また、施設にて上映する史跡案内映像制作業務を実施し、20分間のメイン動画と5分間の短縮動画を制作した。 新型コロナウイルス感染症の影響により、等妙寺旧境内調査・整備検討委員会の開催はできなかったが、委員の個別指導により、第Ⅰ期整備の内容について、具体化のための検討を進めるとともに、平坦部A整備工事の設計検討や令和6年度の史跡公園オープンに向けて検討を進めた。	2	継続	整備検討委員会の指導の下、早期に史跡公園として、町民が気軽に訪れられる場所となり、利活用できるよう事業継続していただきたい。
地域に根ざした個性豊かな文化の振興	井谷家住宅保存整備事業	国登録有形文化財「井谷家住宅」の保存継承を目的に、保存活用計画を検討し、建物の保存修理及び整備・活用を推進する。景観計画の歴史景観地区に指定されている下鍵山幸田地区のまち並みを含めた活用を図ることで、明星が丘施設群・井谷家住宅を文化交流・観光の拠点として、整備・活用を推進することで地域活性化を図る。	国登録有形文化財「井谷家住宅」の保存継承を目的に、保存活用計画を検討し、建物の保存修理及び活用整備を推進する。 井谷家住宅保存活用検討委員会委員の松山大学経済学部加藤光一教授のゼミ生らとともに、9月1日下鍵山地区フィールドワークを実施し、聞き取り調査及びアンケート調査を行った。その中間報告を兼ねて「明星が丘と下鍵山の街並み～文化財を活かした地域再生について考える～」文化講演会・シンポジウムを、12月18日で予定したが大雪のため延期となり、1月28日に開催した。地域の方々約30名の参加があり、シンポジウムでは「井谷家住宅の保存改修を早くして活用できるようにしてほしい」という声が多く聞かれた。 また、地域住民がまちづくりについて学習する機会を提供するものとして「日吉まちづくり大学」の講座を2回実施した。次年度も引き続き、定期的な開催を進めていく予定である。	2	継続	貴重な地域の文化財産を守るため、引き続き調査を続けるとともに、文化財の価値や評価を広く公開・活用できるよう取組を進めていただきたい。 雨漏り等が発生した井谷家については、改修することも検討いただきたい。

基本 施策	個別事業施策名	事業の目的	事業の内容	総合評価		
				判定	今後の方向性	判定理由・課題・今後の対応等
地域に根ざした個性豊かな文化の振興	文化財保存活用地域計画作成事業	第2次鬼北町長期総合計画(平成28年度策定)後期基本計画(令和2年度策定、令和3-7年度第2期総合戦略)を踏まえ、地域の文化財及びその周辺を総合的に保存・活用等を図るとともに、地域の文化財の防災・防犯体制、防災方針等を確立するため、3か年計画で鬼北町文化財保存活用地域計画を作成する。(文化庁認定申請令和7年12月予定)	第2次鬼北町長期総合計画(平成28年度策定)後期基本計画(令和2年度策定、令和3-7年度第2期総合戦略)を踏まえ、地域の文化財及びその周辺を総合的に保存・活用等を図るとともに、地域の文化財の防災・防犯体制、防災方針等を確立するため、3か年計画で鬼北町文化財保存活用地域計画を作成する。(文化庁認定申請令和7年12月予定) 令和4年度は、事前把握として文化財・自然的・地理的環境、歴史的環境、社会的環境等の町の概要について整理を進めた。各地区の歴史的建造物(寺社建築、旧庄屋屋敷、茅葺民家など)については、実態調査と基礎的データの収集・把握を進め、近永地区の近代建築及び等妙寺の建造物について調査した。また、京都美術工芸大学建築学科大上直樹研究室の協力を得て、町内の神社建築(本殿・拝殿・石造物など)について網羅的に調査を行い、旧広見町域の30カ所をあたった。合わせて、各神社総代からの聞き取り調査も行った。 協議会の設立にあたって10月に第1回目の協議会を開催し、3月に第2回目を開催した。2月には文化財保護委員会を開催し、意見交換した。井谷家住宅とも関係するが、日吉地区において住民意識調査のためのアンケート調査を実施した。	2	継続	地域の文化財の保存・活用を進めるための計画作成ということで、大切な事業。3か年の事業で文化庁の認定を目指して引き続きしっかりと進めていきたい。
町民総参加のスポーツ・レクリエーション活動の推進	生涯スポーツ振興事業	健康の保持増進、体力の向上を図り、快適な生活を営むため、健康教育の推進と町民総参加のスポーツ・レクリエーションの推進を図ると共に、総合型地域スポーツクラブの充実に努め、町民の積極的参加を促す。	【スポーツ協会】 ・組織の充実を図るため、指導及び助言を行い、団体育成補助金を交付した。 ・ナイターソフトボール大会の開催と運営をソフトボール協会と共同で行ったが、新型コロナウイルス感染症の影響により途中で中止となった。(16チーム参加) ・でちこんか秋のスポーツ大会をスポーツ協会と共同で実施。9月~11月の間で3件のスポーツイベントを実施した。(ペタンク、陸上、ゴルフ) 【スポーツ少年団】 ・組織の充実を図るため、指導及び助言を行い、団体育成補助金を交付した。 ・各団体とも様々な大会に参加し、中でもソフトボール(鬼北ジュニア)においては、愛媛スポレク祭で優勝するなど、日ごろの練習の成果が発揮された。 【総合型スポーツクラブ】 ・スポーツ教室の開催と運営は、鬼北町スポーツ協会に委託し、火・木は昼に、金・日は夜に実施、年間120回以上開催している。 ・活動種目は、レクバレー、卓球、バドミントン、ラケットテニス、陸上。 【夏季巡回ラジオ体操】 ・夏季巡回ラジオ体操が8月22日に鬼北町(鬼北総合公園多目的広場)で実施され、県内外から132人の老若男女が参加した。	1	継続	コロナ禍の中でも、でちこんか秋のスポーツイベントを実施するなど、町民の健康の保持増進の助けとなっている。 今後も事業の継続を期待している。

基本 施策	個別事業施策名	事業の目的	事業の内容	総合評価		
				判定	今後の 方向性	判定理由・課題・ 今後の対応等
町民総参加のスポーツ・レクリエーション活動の推進	体育施設整備事業	施設設備を改修し、学習・スポーツ環境の向上を図り、総合型地域スポーツクラブを中心とした幅広い分野の交流による学習・スポーツ活動の活性化に努める。	<p>・町内社会体育施設の修繕の実施 農林業者トレーニングセンター：誘導灯取替 三島グラウンド：夜間照明整備工事 近永小学校第2グラウンド・三島グラウンド：夜間照明点検業務</p> <p>・近永小第2グラウンド、三島グラウンド、日吉農村広場の清掃管理委託事業による環境整備の実施</p>	2	継続	町内の各施設の管理や修繕がよく実施されているが、ナイター設備など、改修を要する施設もあることから、指定管理者と連携し運営に当たっていただきたい。
町民総参加のスポーツ・レクリエーション活動の推進	B&G海洋センター運営事業	海洋性スポーツを軸とした実践活動を通して、海事思想の普及を図るとともに、その人間性と体力向上を図ることを目的とする。	<p>本年度も、新型コロナウイルス感染症の影響により、海洋センターの開館期間を5月5日～8月21日までとした。</p> <p>海洋クラブ活動についても、新型コロナウイルスの影響で、スポーツ大会及び交流会等、ほとんどの行事が中止となり、また、今年度はB&G御荘海洋クラブとの交流会も実施できなかった。だが、開催された行事には参加し県内海洋クラブ員との交流を図った。水辺の安全教室も実施し、子供たちに水で遊ぶことの楽しさを教えると同時に水の怖さも教えることができた。</p> <p>【B&G海洋センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者人数 2,447人(内訳:大人807人、大人障がい5人、小人1,030人、小人障がい10人、幼児370人、見学225人) ・おたまじゃくし教室7回開催(26人) 水中運動教室16回開催(80人) <p>【海洋クラブ】(会員30人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海洋性スポーツ実技(カヌー、ロープワーク)・県内の後期交流会(スキー研修)に参加・水辺の安全教室(紙芝居、だるま浮き、ペットボトル浮き) <p>【海洋センター修繕状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シャッター鍵交換工事 ・ろ過機ポンプオーバーホール修繕工事 	2	継続	施設の老朽化が激しいため、バイオマス事業との絡みとあると思うが、新しいプールの整備なども含め今後検討していただきたい。 今後も、利用者拡大に努めていただきたい。

基本 施策	個別事業施策名	事業の目的	事業の内容	総合評価		
				判定	今後の方向性	判定理由・課題・今後の対応等
鬼北総合公園の利用促進	鬼北総合公園の利用促進事業	町民をはじめ、圏域住民の憩いの場、スポーツ・レクリエーション活動の拠点として、鬼北総合公園の利用促進を図るとともに、指定管理者と連携し、なお一層の施設設備の充実に努める。	<p>鬼北総合公園は、地域の交流を図り、スポーツ・レクリエーション及び自然と触れ合う憩いの場を整備し、子供から高齢者までの全年齢が気軽に利用できる公園づくりを目的として、平成元年に事業認可を受け、平成16年4月、現在の公園面積13.8haが供用開始となった。</p> <p>平成31年4月1日、所管が宇和島地区広域事務組合から鬼北町へ移管、鬼北町スポーツ協会が施設管理を行い、より地域に根差した都市公園を目指している。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により一時施設を閉館していた時期もあったが、令和2年度に体育館1階アリーナに除湿型放射冷暖房設備を、2階格技室にはスポットエアコンを整備し、快適な環境づくりが図られたことにより各団体の利用増に繋がっている。また、新たにスポーツラクタを購入するなど、環境整備を行い、更なる公園の利用促進に繋がった。</p>	2	継続	<p>町民の交流の場、健康増進が図れる場として利用者も多いため、市越池横のトイレを男女別のトイレに改修する等も検討頂きたい。</p> <p>今後も充実した管理・運営を継続していただきたい。</p>